

令和5年度第1回社会教育委員会議定例会（第32期） 会議録

会議名（審議会等の名称）	令和5年度第1回社会教育委員会議定例会（第32期）		
開催日時	令和5年4月28日（金曜日）午後3時30分～午後5時15分		
開催場所	文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター601 講習室		
出席状況	委員	10人：伊藤（仁）委員、伊藤（能）委員、大川委員、大澤委員、小森委員、齋藤（正）委員、齋藤（道）委員、中山委員、長谷部委員、丸田委員	
	関係各課	5人：文化振興課長、図書・学び交流課長、スポーツ課長、こども部長、こども・青少年課長	
	事務局	3人：文化スポーツ部図書・学び交流課学び交流係長、同係員2人 学び交流係（259-6104）	
	傍聴人数	0人	
公開・非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	<input type="checkbox"/> 非公開	<input type="checkbox"/> 一部非公開
非公開・一部非公開の場合はその理由			
審議又は検討経過及び結果	<p>1 会議次第</p> <p>（1）開会</p> <p>（2）報告事項</p> <p>1）令和5年度社会教育関係の主要な事業について</p> <p>（3）協議事項</p> <p>1）令和5年度社会教育関係団体への補助金について</p> <p>2）令和5年度社会教育委員会議から選出する委員について</p> <p>3）令和5年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p>4）健康都市やまとMANABI計画（大和市生涯学習推進計画）について</p> <p>5）家庭教育支援について</p> <p>（4）その他</p> <p>（5）閉会</p> <p>2 審議及び結果</p> <p>主な内容は次のとおり</p> <p><開会></p> <p><議長あいさつ></p> <p><関係各課紹介></p> <p><事務局から配布資料の確認></p> <p><報告事項></p> <p>「1）令和5年度社会教育関係の主要な事業」について、担当課より報告。 （議長）担当課からの報告に対し、質問等があればお願いしたい。 （委員）図書館と学習センターの管理運営を指定管理者にお願いすることで、どのような違いがあるのか。事業は活発化するのか。 （市）大きな違いはサービスの拡充である。直営時の図書館、学習センターは月曜休館だったが、現在はほぼ毎日開館することができている。開館時間についても、直営時は17時以降の管理をシルバー人材センターへ委託していたが、現在は閉館時間まで日中と同じサービスを受けることができる。また、公務員は数年で異動し</p>		

てしまうが、民間企業だとノウハウの蓄積が可能である。指定管理者の導入、更新について検討する際、サービス、コスト面等を直営時と比較し、決定している。

(委員) 私は文化創造拠点等運営審議会委員をしていたが、直営時よりもサービス面、コスト面でかなりの効果が出ていると感じた。

(委員) 学習センターの利用料金を支払うタイミングについては、利用する直前に支払えばいい施設と、そうでない施設があると聞いている。施設によって運用にバラつきがあるようなので、統一した方がよいのではないかと思う。

<協議事項>

「1) 令和5年度社会教育関係団体への補助金」について、担当課より説明。

(議長) 事務局からの説明に対し、質問等があればお願いしたい。

(委員) 青少年指導員連絡協議会の補助金 983,000 円は全て活動費に使われているのか。青少年指導員への謝礼は含まれていないか。

(市) 青少年指導員はボランティアだが、謝礼として年間 36,500 円を支払っている。その金額は補助金に含まれていない。

(委員) 市PTA連絡協議会の補助金は28団体に対して6,000円支払っているということか。

(市) 市内小中学校は小学校19校、中学校9校で合計28校である。1校あたり6,000円で積算し、補助金額を算出している。

(委員) 各学校この金額で満足な活動ができているのか。

(市) 市PTA連絡協議会への補助金については、補助金の積算根拠としての金額が1校当たり6,000円であり、合計168,000円を使って市PTA連絡協議会が事業をしていくものである。各単位PTAに6,000円ずつ渡しているということではない。

(委員) どのような活動に使っているのか。

(市) 広報誌発行、バレーボール大会の開催などに使われている。

(委員) 青少年3団体の中で母親クラブの補助金が少ないのはなぜか。

(市) それぞれの事業計画に基づき、基準の範囲内で予算化している。3団体それぞれの活動内容などによって決定している。

(議長) 大和市青少年育成団体運営費補助金交付要綱では、補助金額は組織運営事業運営費の2分の1以内とあるが、予算額に対して補助金額が2分の1を超えているのではないか。

(市) 要綱に基づく補助金算出については、組織運営事業に関し、運営費の2分の1以内で市長が認める額で、加盟団体活動事業については上限が無い。青少年指導員連絡協議会を例に説明すると、加盟団体活動事業を900,000円と捉え、983,000円から900,000円を引くと組織運営事業に係る補助金額は83,000円であり、運営費予算417,415円の2分の1以下となり問題ない。

(委員) 青少年3団体はそれぞれ何人いるのか。

(市) 青少年指導員は、2年任期の2年目であり定員120名のうち現在96名、母親クラブは3ブロックで200人弱である。子ども会は今年の1月末時点で25団体1,613人(子どもの人数)である。

(議長)他に質問は無いか。無ければ今年度の社会教育団体への補助金について承認してよいか。

(委員)異議なし。

～休憩～ (関係各課退席)

～再開～

「2)令和5年度社会教育委員会議から選出する委員」について、事務局より説明。第32期社会教育委員の任期が5月までであるため、次回定例会にて次期社会教育委員による互選により決定予定。

- ① 生涯学習振興基金審査委員 (任期1年:令和5年6月1日～)
- ② 青少年問題協議会委員 (任期2年:令和4年6月1日～)
- ③ 子ども読書活動推進会議委員 (任期3年:令和3年6月1日～)
- ④ 神奈川県社会教育委員連絡協議会理事 (任期1年:令和5年6月1日～)
- ⑤ 文化創造拠点等運営審議会委員 (任期2年:令和4年9月1日～)

「3)令和5年度社会教育委員に関する研修会等」について、事務局より説明。第32期社会教育委員の任期が5月までであるため、次回定例会にて次期社会教育委員による互選により決定予定。

- ① 県社会教育委員連絡協議会総会:全員
- ② 県社会教育委員連絡協議会研修会
- ③ 社会教育委員連絡会議
- ④ 知ることからはじめる人権啓発研修講座
- ⑤ 県公民館連絡協議会第65回県公民館大会
- ⑥ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会 (開成町)
- ⑦ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会 (寒川町)

「4)健康都市やまとMANABI計画(大和市生涯学習推進計画)」について、事務局より説明。

(市)令和5年度をもって健康都市やまとMANABI計画(生涯学習推進計画)の計画年が終了することから、今年度、次期生涯学習推進計画を策定する。位置づけとしては、「大和市学校教育基本計画」とともに、「大和市の教育振興基本計画」を担い、学校教育以外の部分を網羅する計画であり、健康都市やまと総合計画の計画年に合わせて令和6年から令和10年(2024～2028年度)までの5年間である。

本計画は生涯学習社会において、社会教育は中核的な機能をなすことから、社会教育委員会議、大和市教育委員会、大和市生涯学習推進調整会議(庁内検討会議)での検討を予定している。

<計画策定までのスケジュールについては、資料のとおり説明>
本計画には青少年教育、図書館、文化芸術、文化財、スポーツ、次の議題で議論する家庭教育支援の内容を反映し、教育委員会の点検・評価となりうることを計画に盛り込みたいと考えている。
次に、「健康都市やまとMANABI計画(生涯学習推進計画)

にかかるとアンケート」をご覧ください。計画の改定にあたり、市民から生涯学習に関する現状や意見・要望などを把握し、参考とするためのアンケートを実施する予定である。時期は6月末までに約1か月程度、配架場所は学習センターやコミュニティセンターなどの公民館類似施設を含めた市内公共施設を予定している。内容は、前回（5年前）の計画策定時との比較ができるよう、前回のアンケート内容をベースに作成した。網掛け箇所が新たに追加・修正した内容となっている。内容をご確認いただき、追加した方がよい内容や、補足説明を入れた方がよい部分などがあればご意見をいただきたい。

（議 長）アンケートの中身について、ご意見を頂きたい

（委 員）10番の質問のあとに、どのような役立ち、学びがあったかというような質問を入れるといいのではないかと。例えば、友達ができた、子育てに役立つ情報が得られたなど自由記入欄を設けるといいのではないかと。

（ 市 ） 10番と12番が連動するような形にし、学習活動を行っている場所によって様々な回答になるので、選択肢というよりは自由記述欄を設ける形に変更したい。

（委 員）前は21%の回答率であったとのことだが、インターネット上でのアンケートにすれば回答率は上がるのではないかと。

（ 市 ） スマホが普及しているのでWEBを用いることも考えたが、回答率を測るためには母数が決まっている紙のアンケートの方がよいと考えている。

（委 員）15番は区分けをした上で自由記述にするのはどうか。

（議 長）皆さんからの意見は参考意見とし、事務局に決めてもらえればよいと思うが、よいか。

（委 員）異議なし。

「5）家庭教育支援」について、事務局より説明。

（ 市 ） 前回2月の定例会で委員の皆様にご意見を反映し、提言書（素案）を事務局にて修正した。修正箇所を含め、全体の構成についてご説明する。

＜全体の構成について、資料のとおり説明＞

（議 長）全体の構成はすっきりしたのではないかと。

（委 員）我々が今まで協議した内容が上手く取り入れられている。

（委 員）「5 おわりに」の中に、「モデル事業と同様のものを、地域団体に主体的に関わって実施してもらうことが何より重要と考えます。」とあるが、明文化の必要は無いが、実際にどうしていくかについて考えた方がよいのではないかと。引き続き、何らかの形で社会教育委員が連携していくことも必要と考える。

（委 員）「5 おわりに」の中の、新型コロナウイルスについての記載は削除してもよいのではないかと。

（委 員）P5の5行目、社会教育委員会議の「委」が抜けている。

（委 員）P6（3）の2行目に、青少年指導員、スポーツ推進委員なども関係団体に入れるべきではないかと。

(議 長) 頂いた意見を元に議長と事務局で進めていきたいが、よいか。

(委 員) 異議なし

(市) 昨年度まで社会教育委員会議主催で開催してきた家庭教育支援事業について、今年度については社会教育委員会議で主催し、広報で募集していくという、今までの形は終了したいと考えている。提言にもあるが、関係団体とのネットワークづくりの推進も兼ね、活性化会議や市P連等の既存団体に対して家庭教育支援事業をPRし、家庭教育支援講座を実施したいという団体からの要望を受け、実施する方法を考えています。

(議 長) 事務局からの提案内容で進めていただいてよいか。

(委 員) 異議なし

<その他>

次回の日程について

(市) 次回開催については、教育長にも出席いただき、第 32 期の委嘱式を行う。日程は6月30日(金)、4日(火)、5日(水)、6日(木)、10日(月)のいずれかで後日調整させていただく。場所はシリウス6階、生涯学習センターの601講習室か、610大会議室で行う。

今期で任期満了の方のご挨拶

大澤委員、齋藤(正)委員

以上で議事を終わる。

<閉会>

会議資料

- ・ 令和5年度社会教育関係の主要な事業
- ・ 令和5年度社会教育関係団体への補助金
- ・ 社会教育関係団体の令和4年度事業報告・決算報告、令和5年度事業計画・予算(4団体)
- ・ 令和5年度社会教育委員会議から選出する委員
- ・ 令和5年度社会教育委員に関する研修会等
- ・ 生涯学習推進計画の策定にあたって(案)
- ・ 子どもの育ちを支える家庭教育支援のあり方について(提言)(素案)